

報 告 Report

ル・コルビュジエ「カップ・マルタンの休暇小屋」制作についての中間報告

原稿受付 2012年4月2日

ものづくり大学紀要 第3号 (2012) 105~110

赤松 明 市川茂樹 朽木 宏 佐々木昌孝 藤原成暁
 細田保弘 町田清之 八代克彦 横山晋一

ものづくり大学 技能工芸学部
 世界を変えたモノに学ぶ／原寸プロジェクト実行委員会¹⁾

1. はじめに

本制作は2010年6月に神本武征前学長の「本学を元気にし、本学の存在感をアピールする企画募集」に採択されたプロジェクトであり、「世界を変えたモノに学ぶ／原寸プロジェクト(実行委員会)」と題し、建設・製造両学科協働で世界的な名作住宅や工業製品などを原寸で忠実に再現し、生きた教材として学内に常設展示するとともに、本学のユニークなものづくり教育を世界に向けてアピールすることを目的とする。

実行委員会ではまず手始めに、フランスの世界的建築家ル・コルビュジエの終の棲家…イタリアとの国境近く、地中海沿岸のカップ・マルタンにある約5坪(16.5㎡)という小さな休暇小屋…を制作することとした。2010年9月、パリのル・コルビュジエ財団での予備調査を足がかりとして、2011年2月には学生・教職員総勢16名で現地実測調査を敢行し、その成果をもとに家具・照明金物を含め2011年度卒業制作として両学科で共同制作した。その成果が報われ、2011年度学長特別賞の栄に浴することができた。なお、卒業式を翌日に控えた2012年3月15日には本制作の完成発表会が行われ、地元埼玉建築士会の方々をはじめ、遠く千葉・東京からも50名を越える多くの見学者が訪れた。

2. 経過報告

2010(H22)年度8月1日～平成2011(H23)年度3月末日までの活動は以下のとおりである。

【2010年度：模型制作+現地調査】

2010年07月15日 学長プロジェクト企画書提出

2010年09月15日 パリ、コルビュジエ財団にて予備調査²⁾

2010年10月13日 学長プロジェクト採用決定

2010年10月20日 第1回キックオフ・ミーティング

2010年01月21日 休暇小屋の1/5模型制作について4Q卒業研究発表会(建設)³⁾

2011年02月23日-3月2日 フランス現地調査⁴⁾

2011年02月24日 施設委員会にて建設場所決定⁵⁾



図1 フランス現地調査：マルセイユのユニテ・ダビダシオンにて20110226
後列左から 野田(パリ在住) 池田 赤松 豊田 宮本 山本 井上 藤原 横山 町田
前列左から 齋藤 船山 田中 渡辺 梅津 朽木 八代

【2011年度：原寸制作】

- 2011年04月01日 第6回ミーティング：神本学長に現地調査報告
- 2011年06月20日 適合証明交付⁶⁾
- 2011年07月11日 確認申請交付⁷⁾
- 2011年07月15日 着工
- 2011年07月28日 棟上式
- 2011年08月22日 家具制作開始
- 2011年10月29 - 30日 学園祭にて施工現場を公開展示
- 2011年11月28日 金物制作について3Q卒業研究発表会(製造)⁸⁾
- 2012年01月27日 「ものづくり大学通信 No. 6」に報告⁹⁾
- 2012年01月27日 4Q卒業研究発表会(建設)¹⁰⁾
- 2012年02月04日 4Q卒業研究発表会(製造)¹¹⁾
- 2012年03月15日 見学発表会
- 2012年03月16日 第8回卒業式にて学長特別表彰¹²⁾

3. まとめ

2012年3月末時点での本制作の成果をひとつとして「表1 制作図面リスト」をあげたい。建築24枚、家具112枚、建具54枚、金物30枚、縮尺1/1から1/20という、学生たちの気迫が手触り感覚で伝わってくる労作計220枚、A3版詳細図面である。もちろんこれらは現物として原寸で存在していることはいままでのない。

制作の進捗状況として、ほぼ完成とはいうものの、北側立面、一部家具、塗装、外構工事などを残しており、その作業は本プロジェクトに当初から参加しているコアメンバーの新4年生へと引き継がれ、その制作過程は <http://www.youtube.com/user/IOTBuilding> で今後も随時発信・公開予定である。(文責：八代克彦)

表1 作成図面リスト (A3版)

Table with columns: 建築, No. 記号, 図面名称, 縮尺, 作成日, 図面担当. Lists architectural drawings for building components like floor plans, elevations, and sections.

Table with columns: No. 記号, 図面名称, 縮尺, 作成日, 図面担当. Lists architectural drawings for building components like door and window details, stairs, and structural elements.

Table with columns: 家具, No. 記号, 図面名称, 縮尺, 作成日, 図面担当. Lists furniture drawings including beds, desks, tables, and storage units.

Table with columns: 建具, No. 記号, 図面名称, 縮尺, 作成日, 図面担当. Lists door and window hardware drawings such as handles, hinges, and locks.

Table with columns: 倉物, No. 記号, 図面名称, 縮尺, 作成日, 図面担当. Lists drawings for storage containers, shelving, and other utility items.

今回の制作は、ものづくり大学神本前学長が起点を与え、それを承けた学生・教職員はじめ多くの協力なくしてここまで辿り着くことはできなかった。またその過程において基礎の配筋とコンクリート打設では生川工務店、建具の納まりについては浦野建具の職人の方々というように、日頃から学生の指導にあたっていただいている多くの地元企業に真剣勝負の場で改めて薫陶の機会をいただいた。

末筆ながら、本制作にかかわってくださった方々に、ここに深甚の謝意を表する次第である。

注 釈

- 1) 実行委員会のキックオフ・メンバーは以下の9名(担当分野/所属)であった。
赤松明(家具デザイン/建設), 大島博明(建築デザイン/建設), 大塚秀三(建築材料・施工/建設), 日向輝彦(溶接・接合技術/製造), 藤原成暁(建築デザイン/建設), 細田保弘(機械加工/製造), 松本宏行(最適デザイン/製造), 八代克彦(プロジェクトの統括/建設), 横山晋一(木造建築・実測調査/建設)。その後, 随時, 以下のメンバーがサポートに加わった。
市川茂樹(金属加工/製造学科), 朽木宏(設計・確認申請監修/建設学科), 坂口昇(構造設計/建設), 佐々木昌孝(家具デザイン/建設), 土居浩(広報協力/建設), 町田清之(施工指導/建設)。
- 2) 2010年9月16日(木) 11:40-12:00 ル・コルビュジェ財団ディレクター Michel Richard 氏に八代が面会し, 休暇小屋レプリカ制作の主旨, すなわちものづくり大学の教育・研究の一環として学生たちの手で制作する旨を説明し, 以下5つの条件で制作許可を得る。①アカデミックな(教育・研究)目的であること ②展示・保管は学内にとどめること ③学外に持ち出し展示のときはその都度事前に報告のこと ④学生とともに必ずカップ・マルタン現地を訪れること ⑤制作にあたって問題があったら協力を約束する。なお面会に先立って森美術館学芸部の前田尚武氏, 広瀬麻美氏にアドバイスをいただき, 面会時にはパリ在住の建築家野田真紅氏に通訳していただく。面談後, 階上の事務所・資料室を訪ね, 財団職員 M. Arnaud Dercelles 氏にコルビュジェ関連目録についての説明を受け, さらに館内を14:00まで見学。
- 3) 阿部祥吾:ル・コルビュジェ「カップ・マルタンの休暇小屋」模型制作(八代研究室/建設)
- 4) 2月23日-3月2日の現地調査の参加者は学生10名(池田達彦, 井上雄介, 梅津さとみ, 齋藤弘樹, 田中亮, 豊田航平, 船山浩司, 宮本哲, 山本賢人, 渡辺薫恵), 教員6名(赤松明, 朽木宏, 藤原成暁, 町田清之, 八代克彦, 横山晋一)でその模様については以下に報告。
世界を変えたモノに学ぶ・原寸プロジェクト実行委員会:ル・コルビュジェ「カップ・マルタンの休暇小屋」ものづくり大学通信 No.6 2012.1.27
なお, 2月23日-3月2日の調査期間後, 現地に残った4名の学生のうち最後の帰国者(井上)が予定の1日遅れで3月11日帰国し無事帰宅直後, 東日本大震災が発生したことを備忘録として記す。
- 5) 当初は敷地として, 両学科間の内外スペースを立体的に活用できる「ものづくりの道」を予定していたが, 現物が地中海を臨む風光明媚な崖地にあることから, 6月下旬から7月上旬にかけて蓮が開花する調整池を地中海に見立て, その池畔に変更。これにより, 新幹線からも見ることが可能になった。
- 6) 学生2名(梅津, 田中)が現地調査に参加した朽木宏氏の設計事務所にインターンシップ研修中に朽木氏の指導で関係書類をまとめる。
- 7) 同上
- 8) 2011年度卒業研究は, 統一タイトルをル・コルビュジェ「カップ・マルタンの休暇小屋」とした。
豊田航平:インテリアスチールの制作01(細田研究室・製造)
- 9) 前掲4)参照
- 10) 梅津さとみ:実施図面の制作(八代研究室/建設)
栗田 徹:玄関建具・コート掛けの制作(佐々木研究室/建設)
近藤彰太:箱型スツール・テーブル・本棚の制作(赤松研究室/建設)
八久保裕文:施工(1) 基礎工事・材料加工・組立(横山研究室/建設)
安田志信:施工(2) 外装・建具枠・内装(横山研究室/建設)
吉田翔:ベッドの制作(佐々木研究室/建設)
- 11) 齋藤弘樹:洗面器の制作(市川研究室/製造)
鈴木堯幸:インテリアスチールの制作02(細田研究室/製造)
- 12) 今回の受賞は以下のコアメンバー16名(製造3名 建設13名)であるが, ほかに多くの学生が制作に協力参加したことを特記する。青木礼, 井上雄介, 梅津さとみ, 栗田徹, 近藤彰太, 齋藤弘樹, 菅原翔 鈴木堯幸, 田中亮, 豊田航平, 八久保裕文, 宮本哲, 安田志信, 山本賢人, 吉田翔, 渡辺薫恵



図2 地中海に見立てた池の畔に完成した休暇小屋 手前にコンクリート製の浮き橋,右に風力発電の風車が見える



図3 休暇小屋外観 実際には左側にル・コルビュジェ行きつけのレストランがあり, 休暇小屋はその増築部分として建設された



図4 休暇小屋内部01 黄色いランプシェードが見える 天井は今後着彩の予定



図5 休暇小屋内部02 入口突き当たりのコート掛けとその背後にトイレスペースが見える